

## 松山支部

松山市では、松山市教育委員会から委託を受け、「小学校情報教育研究委員会」及び「中学校情報教育研究委員会」を組織して、情報教育の研究を推進してきた。研究委員会は、市内各小・中学校情報教育担当教員及び研究員と松山市教育委員会担当者と組織している。

また、松山市では、昨年度末までに各教室に50インチの大型テレビが整備され、各校1台以上の電子黒板も導入された。実物投影機や各教室のコンピュータ等と組み合わせて活用することで、さまざまな活用が可能な環境が整ったと言える。

### 1 教員研修について

小学校情報教育研究委員会が中心となり、平成17年度から、「情報教育研修会」を8月上旬に開催している。毎年、情報教育主任だけでなく情報教育に関心のある者約200名が参加する大規模な研修会となっており、研究委員会の中心的な活動に位置付けられている。また、この研修会は、放送大学ICT活用・遠隔教育センター教授中川一史氏を講師として毎年招き、最新の情報教育に関する情報や理論を教授していただいている。また、中川氏が主催するメディア表現研究会（D-Project）からの協力を得て、ワークショップを開催するなど、充実した研修プログラムを組むことができ、毎年好評価を得ている。

今年度の情報教育研修会は以下のとおりである。

(1) 日 時 平成22年8月2日(月) 9:30～16:30

(2) 場 所 愛媛大学

(3) 内 容

ア 実践事例発表

- ・ 「地上デジタル放送を生かした授業の実践と北海道との交流」

荏原小学校 石田年保 西河珠美 中尾寛子

- ・ 「体育科におけるICT機器の活用」 椿小学校 中野圭一郎

イ 講演

- ・ 「ICTの活用と言語活動の充実」

講師：放送大学ICT活用・遠隔教育センター 教授中川 一史先生

ウ 分科会

A：学校における情報セキュリティ&情報モラル

講師：(株) Sky山本和広先生 協力：広島県教科用図書販売

B：D-projectワークショップ

コーディネーター：横浜市立高田小学校 佐藤幸江先生

コメンテーター：中川一史先生

C：電子黒板の活用実践&活用

講師：愛媛県総合教育センター 研究主事 白石 弘先生

また、中学校では、今年度も夏休み中に指導者研修を行った。情報管理についてやスカイメニューの使用法やe-ライブラリの使い方などの講習を行った。

(1) 日 時 平成22年8月25日(水) 9:00～12:00

(2) 場 所 松山市立余土中学校 コンピュータ室

(3) 内 容

ア 情報モラルについて

イ 情報セキュリティについて

ウ 2学期校内研修の計画・立案・情報交換

さらに、中学校では情報教育研究委員会の先生を各学校に派遣し、校内研修の手伝いをするという取組も夏休み中に行った。市内の数校から申し込みがあり、派遣された。

## 2 授業研究会について

小・中学校の情報教育研究委員が参加し、小・中学校別に授業研究会を実施した。今年度は、宮前小学校・三津浜中学校で以下のように授業研究会を行い、研究協議・意見交換等を行った。小学校の教員が中学校に、中学校の教員が小学校に参加する姿も見られ、小・中の連携について考えることのできる貴重な機会にもなった。

### ・ 小学校授業研究会

- (1) 日 時 平成22年11月24日（水） 13：30～16：35
- (2) 場 所 宮前小学校
- (3) 内 容

学年・組	教科等	単元（題材）名
1年2組	算 数	「ながさくらべ」
3年1組	総合的な学習	みんな生きてる「ダイズ大へんしん」
6年3組	学級活動	「不幸のメールって本当？」

### ・ 中学校授業研究会

- (1) 日 時 平成22年12月3日（金） 13：25～16：00
- (2) 場 所 三津浜中学校
- (3) 内 容

学年・組	教科等	単元（題材）名
2年5組	学級活動	「情報モラルについて考えよう」

## 3 グループウェアにおける連携

松山市では、一昨年度グループウェア「ミライム」を導入した。これは、情報教育委員会と地元企業（株）アイ・エヌ・エスが協力して開発したもので、学校という場に特化したグループウェアである。

校内での情報の共有だけでなく、松山市内全教職員にメッセージを送ったり、アンケートをとったりすることもできる。今年度は特に、市教育委員会とも連携できるようになった。運用後約2年経過したが、この2年間で使用している割合が飛躍的に上昇し、松山市の学校になくってはならないものとなっている。

## 4 今後の課題

- ICTの更なる有効活用と指導技術の向上
- 児童生徒の発達段階や、一人ひとりの実態に即した支援の在り方
- 情報モラル及び情報安全教育の教科等のカリキュラムへの位置づけ
- 児童生徒自身が情報社会に主体的に参画する態度の育成
- 各校におけるグループウェアの運用ルールの確立